



JSABs
Japan Society of Applied Business Studies

日本ビジネス実務学会

会報 No.58

2013年4月10日発行

発行/日本ビジネス実務学会広報委員会

事務局/〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15 自由が丘産能短期大学内 TEL/FAX03-6809-7131(直通)

URL : http://www.b-jitsumu.com / e-mail:business.jitumu@gmail.com

ビジネス実務研究の継続と変革

池内 健治(自由が丘産能短期大学)

大学に関する雑誌の特集を目にする機会が増えてきたことに気づく毎日です。以前ならば、ビジネス誌や週刊誌などで大学の記事などを見ることはなく、せいぜい有名大学への入学者数の高校ランキングぐらいではなかったのではないのでしょうか。現在、大学の存在が身近になったともいえるし、大学教育に対する批判が高まっているともいえます。

今後、大学の機能別分化が進み、教育により重点が置かれることになり、教育の質の保証が求められることとなります。とくに、社会生活および職業生活に必要な能力の開発、すなわち就業力の育成を大学教育が担うことになるでしょう。本学会の研究領域である、ビジネス実務における能力開発はこの大学教育の課題に直結する研究です。

私たちはビジネス実務の現場に視点をおき、実践力の育成に目を向けて研究を積み重ねてきました。「実践の知」の創出に取り組んできた学会の蓄積が活かされる時代であるともいえましょう。ただし、ビジネス実務の現場は激変しており、これまでの蓄積だけでは、必要な能力開発を実現できるわけではありません。これまでの研究の蓄積を活かしながら、それを超える研究が求められています。

まさに、「実践の知」としてのビジネス実務研究を維持しつつ、変革を目指さねばなりません。21世紀という言葉が、遠い先にあるように感じていた時代から、21世紀に突入して、あっという間に12年が過ぎました。この間、9.11が起り、3.11を経験しました。今回、全国大会を福島の地で開催できることは、改めて時代の転換点を振り返るよい機会になると思います。

いま、私たちは大きなパラダイム転換のただ中のように考えます。このような時代に遭遇したことを脅威ととらえず、新しい機会ととらえて、ともに研究を深めていきたいものです。

今回、油谷副会長、大島副会長が理事を退任され、役員構成が変わります。退任される役員の方々のこれまでのご尽力に感謝するとともに、これからもともに研究を深めていくことを願うものです。



Contents

委員会活動	2
2012年度ブロック研究会活動報告	
北海道、関東・東北ブロック	3
中部、近畿ブロック	4
中国・四国、九州・沖縄ブロック	5
発表一覧	6
2012年度ブロック運営委員	8
2012年度新入会員	8
第32回全国大会のご案内	8